

発言通告書（総括表）

令和7年第4回定例会 代表質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
1	小野議員 (次世代)	1, 今後のまちづくり、産業振興について 2, 安心して生み育てられる支え合いの地域社会の実現について 3, 子どもの成長過程に必要な施策について 4, 大規模災害に備える本区の取組みについて	(1) エリマネの本格稼働を見据え、神保町・秋葉原の地域力を生かしたまちづくりをどのようにすすめるか。 (2) 地域を盛りあげ伝統文化などを継承人材流出の防止とあらたに参画する人材の確保についてまちづくり視点で検討を。 (3) 社会問題化する民泊には対応が必要と考えるが今後の取組みについてうかがう。 (4) 地縁団体、地縁によらない団体、企業、商店、ロケーションなどを生かした町のつながり強化と活性化の推進についてうかがう。特に、デジタル地域通貨へのご見解、地域活動への支援や助成のあり方など。 (1) こども家庭センターの整備の進捗についてうかがう。 (1) 療育、検査実施のニーズの把握とマッチングを円滑にするための取組みについて見解をうかがう。 (2) 中高生の成長を考慮した居場所づくりの創設についてうかがう。 (3) 千代田区の地域特性を生かした独自の体験学習の取組みについて。 (1) 防災減災の啓発にイベントや各種取組みが展開されている。その効果や課題、連携についてうかがう。 (防災アプリの活用、命を繋ぐ食、被災時の健康管理、発災後の区の支援体制、地区内残留地区である本区ならではの啓発)	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
2	池田議員 (自民党)	○令和8年度予算編成について	・選挙公約において最優先としていた「暮らしを守る物価高対策」についてこれまでの施策の評価と、次年度以降どのような取り組みを行っていくのか ・物価の高騰は区民生活だけでなく、区政運営にも影響が出始めている。現状の認識と令和8年度以降の予算編成への影響について伺う	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第4回定例会 代表質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
2	池田議員 (自民党)	○次世代育成への取り組み ○安全・安心な子育て環境への取り組み ○環境美化の取り組み	・親子 2 世帯や家族編成が変わらず住み替えの見通しがつかない世帯への住宅助成の拡充について ・町会活動に尽力している世帯が中心となり祭礼文化は継承される、いつまでも住み続けられる施策を ・町会員に依頼する国勢調査、請け負い切れず委託した範囲、調査漏れの地域や全体の経費等伺う ・区内大学との連携協力の充実に加え、3 歯科大学との連携など大規模災害時の協力基本協定の更新を求める ・学童クラブについて、小学校との連携、事業評価の実施等現状と課題 ・保育士のストレスチェックについて ・蓋つきごみ箱の設置条例へ向けた課題と進捗状況 ・さくらまつりなどの各種イベントでのごみの分別、スマートごみ箱の試行設置 ・ゼロ・ウェイスト千代田を宣言後の取り組み	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
3	桜井議員 (自 民)	○令和7年度をどのように分析し、これからの予算に反映させるのか ○現在、休館中の国立劇場について	○第3回定例会での決算審議を経て、区はこの1年をどのように分析し、これからの予算に反映させるのか ○コロナ禍以降、人口推移は横ばい、今後の財政運営に影響しないか、区の見解を問う。 ○ふるさと納税『ホームタウンちよだ応援事業』の現状と課題は ○歳出の執行残に対しては区民への丁寧な説明が必要 ○国立劇場は千代田区民にとって長年親しまれてきた大切な文化芸術施設であり再開に向けて、国の責任で一刻も早く整備すべき。区としてこの機を逃さず確実な整備運用が叶うよう国へ要請をすべきではないか。	区 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第4回定例会 代表質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
3	桜井議員 (自 民)	○千代田区民体育大会について ○旧永田町小学校の解体更地化について ○食品ロス全国大会を主催した本区として今後、どのように区民や区内業者にアピールしていけるか。	○炎天下での競技となってしまった今年の体育大会の反省を生かして、大きな事故が起きる前にしっかりと暑さ対策を講じるべきと思うがどうか。 ○まずは区として留保財産の定義や基準、考え方について庁内ではどのような議論をされてきたのか ○大臣賞を受賞された北九州市の実例に習って本区の食品ロスの対応について検証する。	区 長 関 係 理 事 者
4	えごし議員 (公 明)	高齢者、住宅確保要配慮者への住宅支援 子どもたちが楽しく、安全に遊べる公園整備 区内の小規模解体工事について	高齢者や住宅確保要配慮者にとって、引越などによる区内住居の確保は非常に困難となっている。区も様々な支援を行っているが、まだまだ進んでいない現状がある。区民が安心して住み続けられるよう、住宅確保への考えを伺う。 ・ 高齢者や住宅確保要配慮者の区内の住宅確保について、区の課題認識は？ ・ 家主、オーナーが抱える、高齢者や孤独死などへの不安払しょくのための取組について ・ ビルの空き室等からの住宅転用について ・ こもれびなど高優賃への補助について ・ 家賃低廉化への支援について ・ 移動型遊具の活用について ・ 遊具の安全性について、安全確保への取組 ・ 遊具の遊び方、説明、注意事項など周知について ・ 80㎡未満の小規模解体工事の把握について ・ 近隣とのトラブルへの対応について ・ 80㎡未満の解体工事への届出について	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者

発言通告書（総括表）

令和7年第4回定例会 代表質問

No.	発 言 者	発 言 事 項	発 言 要 旨	答弁を 求める者
4	えごし議員 (公 明)	HPVワクチンについて	今後の接種率向上の取組について、区の考えを伺う。 ・キャッチアップ接種の経過処置について ・本区の女子の定期接種件数、接種率の推移は？ ・対象者への周知、啓発について ・男子への接種について	区 長 教 育 長 関 係 理 事 者
5	のざわ議員 (維 新)	1.Public Medical Hub (PMH) と DX への区への取り組みについて 2. PMH と DX への取り組みを支える組織体制・内部統制の強化について 3. 改革ロードマップと区民への進捗公開について	(1)EBPM 推進と医療 DX (PMH) 構築について (2)人的体制とベンダー品質担保について (3)公共サービスメッシュ・システム標準化への対応について (4)行政デジタル化と国への働きかけについて (1)内部統制とオーナーシップ醸成に関する組織改革について (2)公共サービスメッシュ・DX 推進と業務再設計について (3)個人情報保護・住民理解・自治体負担への対応について (4)職務設計・マネジメント力強化・AI 活用による働き方改革について	区 長 関 係 理 事 者